

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	030101030	予算コード	01014400	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	戦没者援護事業			正規職員数 0.22	国庫支出金	有効性	C	戦没者遺族・戦傷病者援護事務に関しては、住民から身近な自治体である市の関与は必要であり、戦没者追悼式についても、一定の行政の関与はやむを得ない性質をもった事業である。戦後70年を経過し、今後、戦争を経験した人や戦没者の遺族も高齢化していく中で、戦争の被害を風化させないことや平和の大切さを啓発する機会でもあり、本事業は現状を維持しながら継続して実施していくことが妥当であると考えられる。	
担当課	地域共生推進課			嘱託職員数 0	府支出金 32	効率性	C		
根拠法令等	法定受託事務			臨時職員数 0.1	市債	妥当性	A		
	■法律・政令・省令			歳出(千円)	その他	受益者負担	該当なし		
	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法 他			人件費総額 2,029	一般財源 2,513				
					減価償却費 0				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	2,545	緊急性	D		事務事業実施内容
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	25				戦没者追悼式は、例年通り10月に開催。戦没者・戦傷病者援護事務に関しては、請求期限が時効を迎えるものがあり請求指導の件数が増加。遺族会の支援についても例年通り理事会開催のサポート及び活動補助を実施。
対象	不特定の市民			活動指標	H30実績	公的関与	B		
	対象数			戦没者追悼式	1.0				
	戦没者追悼式は市民全般に、戦没者・戦傷病者援護事務は施策対象者			戦没者・戦傷病者援護制度申請経由事務	52.0	実施主体・委託化	B		
事業の内容	戦没者援護事業として以下の業務を行っている。					他の事務事業との関連	A		
	①市主催の戦没者追悼式(例年10月実施:泉の森レゾナンスホール(平成22年度までは小ホール))			成果指標	H30実績	透明性	C		
	②恩給等申請経由事務(国の法律により事業量が増加する。平成27年度は特別弔慰金の申請受付(約700件))			戦没者追悼式参列者	84.0	財政健全化計画	該当なし		
	③その他遺族の援護事務			戦没者・戦傷病者援護制度申請受付等事務(特別弔慰金含む)	52.0	財政健全化の取組	該当なし		
	④遺族会理事会開催関係事務					改革改善プラン達成度	該当なし		
				コスト指標	H30実績				
事業の目的	戦没者の御霊を追悼し、平和の大切さを啓発する。			戦没者追悼式参列者1人当たり経費	9,154.0				
	戦没者遺族・戦傷病者援護事務(恩給・給付金・弔慰金等の申請事務等)による福祉の向上。			戦没者・戦傷病者援護制度申請等事務1件あたりの人件費	27,307.0				